

# 早稲田大学文学研究科 考古学コース



早稲田大学考古学研究室ホームページ  
<http://www.waseda.jp/bun-arc/>

所属学生によるレーザー探査 (右上)、実測 (左上)、発掘 (左下)、実験の様子 (右下)

# 2023 年度 早稲田大学大学院文学研究科考古学コース

## 教員・学生状況

### スタッフ

#### 教授（専任）

- 高橋 龍三郎：日本考古学（縄文時代）、パプアニューギニア民族調査  
長崎 潤一：【大学院主任】日本考古学（旧石器時代）  
寺崎 秀一郎：中南米考古学（ホンジュラス・マヤ）  
田畑 幸嗣：東南アジア考古学（カンボジア・アンコール朝）/文化遺産論  
城倉 正祥：【学部主任】日本考古学（古墳・古代）、東アジア考古学（中国・シルクロード）

#### 講師（テニユア・トラック）

山崎 世理愛：エジプト考古学

#### 教員（非常勤）22 名、兼任教員 2 名

#### 助手

文学学術院助手【考古学】横山 未来（コースに関するご質問は yokoyama.miku345@gmail.com まで）  
會津八一記念博物館助手【考古学】谷川 遼  
文学学術院助手【社会構築】呉 心怡

### 動向

#### 在籍学生数

2 年生 30 名、3 年生 26 名、4 年生 30 名、院生 28 名

#### 大学院生進路

- ① 大学院（博士課程）進学：早稲田大学/金沢大学/東京大学/サウサンプトン大学など  
→日本学術振興会特別研究員 DC1/DC2→PD/大学講師など
- ② 国家・地方公務員：省庁・都道府県・東京都 23 区、市町村など  
〈総合職・一般職・教員・専門職（文化財担当・博物館）〉
- ③ 一般企業など・・・就職等で役立つ、考古調査士資格が申請・取得できます

### 近年の主な活動

#### 考古学実習

千葉県加曽利貝塚の測量・GPR 調査  
群馬県三ツ木東原 B 遺跡の発掘調査

#### その他調査

千葉県上総国分寺の測量・GPR 調査  
千葉県高田 2 号墳の発掘調査  
神奈川県向影寺、橘樹官衙・馬絹古墳の測量・GPR 調査  
茨城県船塚山古墳の測量・GPR 調査  
群馬県黒井峯遺跡の測量・GPR 調査  
京都府五条坂窯跡の三次元計測調査  
北海道立川遺跡の発掘調査  
キルギス共和国アクベシム遺跡の発掘・GPR 調査  
エジプト・アラブ共和国ルクソール西岸岩窟墓群の発掘調査  
ベトナム社会主義共和国ルイロウ遺跡の発掘調査  
カンボジア王国バイヨン遺跡の測量・GPR 調査  
ラオス人民民主共和国ワット・プーの古代都市の発掘調査  
ホンジュラス共和国コパン遺跡の GPR 調査  
パプアニューギニア独立国における民族調査

#### 学会等

早稲田大学考古学会総会（例年 4 月初旬）  
早稲田大学史学会大会（例年 10 月初旬）大学院生も発表できます  
早稲田大学考古学会研究発表会（例年 12 月中旬）

#### 展示

會津八一記念博物館企画展示（秋期）手伝いなどを通じ、展示方法なども学べます

## 考古学コース 年間スケジュール

4月	上旬 中旬	春学期授業開始 早稲田大学考古学会 総会・公開講演会
5月	27日、28日	日本考古学協会 総会・研究発表会
6月	下旬～	修士論文計画書の提出
7月	15日 下旬	大学院文学研究科修士課程推薦入学試験 春学期考古学コース納会
8月	上旬	春学期授業終了(全学)
夏季休業期間(8月～9月)		
9月	上旬～ 21日 下旬	夏季考古学実習 大学院文学研究科修士課程入学試験(一次) 9月卒業式・修了式および学位授与式
10月	1日	大学院文学研究科修士課程入学試験(二次)
10月	上旬  中旬～下旬	秋学期授業開始 卒業論文計画書提出(3年生) 早稲田大学史学会大会 卒業論文題目届提出(4年生)
12月	上旬～中旬 中旬 下旬	早稲田大学考古学会 研究発表会 卒業論文提出(4年生) 忘年会
冬季休業期間:12月下旬～1月上旬		
1月	上旬	修士論文提出
2月	上旬	秋学期授業終了
春季休業期間(2月上旬～3月31日)		
1月	28日	大学院文学研究科博士後期課程入学試験(一次)
2月	1日	大学院文学研究科博士後期課程入学試験(二次) 大学院文学研究科科目等履修生試験 大学院修士課程論文特別選抜入学試験
3月	下旬	卒業式・修了式および学位授与式 追いコンなど

## 近年の修士論文題目一覧

### 2018年度

7世紀印波の貝化石を使用した横穴式石室の考古学的研究  
古代エジプト新王国ラメセス朝期における供物表現  
後期青銅器時代におけるエジプトとミケーネ文化期ギリシャの交流  
中国北方における元代墓制の考古学的研究  
土器から見た縄文時代前期後半における地域間交渉  
奈良時代における下野国造薬師寺司瓦工集団の動向とその背景  
造瓦技法にみる品の国分寺の創建過程  
カンボジア、サンボー・プレイ・クック遺跡群出土土器の型式学・編年学的研究

### 2019年度

縄文時代後晩期の土製仮面に関する研究  
中期青銅器時代～後期青銅器時代の東地中海世界におけるキプロスの土器交易  
縄文時代晩期東北地方における土器製塩  
3Dスキャンを用いた槍先形尖頭器の機能形態学的研究  
縄文前期土器の情報構造と選択性  
タイ・ドヴァーラヴァティ時代へのセマー石配置についての考古学的研究

### 2020年度

古代エジプトの図像表現からみる武器の象徴的意味—新王国時代における表現技法とその背景—  
縄文時代晩期前葉の異系統土器に関する研究

### 2021年度

縄文時代早期後半の土器に関する研究  
定型化段階の小札甲の生産体制  
勝坂式土器圏と新崎式・上山田式土器圏の交流関係について  
エジプト・ナカダ文化の副葬土器研究  
環状貝塚形成論

### 2022年度

関東地方における浮線網状文土器群の系統と分布  
古代東国の塔跡からみる国分僧寺の伽藍配置の成立  
エジプト新王国時代における「ホルスの四柱の息子たち」の諸相

# 2023年度 時間割

		月	火	水	木	金	土
8:50 1	春	考古学研究指導 5-1 D: 田畑幸嗣 【対面】	国民国家と文化: 寺崎秀一郎 【対面】		考古学演習 11(北方考古学): 長崎潤一 【対面】	考古学研究指導 3-1 D: 城倉正祥 【対面】	考古学専門実習: 高橋龍三郎 【対面】 文化財行政学: 御堂島正 【対面】
	秋	野外考古学概論: 土屋隆史 【対面】	考古学演習 10(外国考古学): 寺崎秀一郎 【対面】		考古学演習 13(比較考古学): 山崎世理愛 【対面】	考古学研究指導 3-2 D: 城倉正祥 【対面】 考古学演習 6(実験考古学): 長崎潤一 【対面】	考古学専門実習: 高橋龍三郎 【対面】
10:30 2	春	原始古代の社会と宗教(エジプト・マヤ): 山崎世理愛/寺崎秀一郎 【対面】 考古学研究指導 5-2 D: 田畑幸嗣 【対面】	考古学演習(卒論): 山崎世理愛 【対面】 考古学演習 5(実験考古学): 田畑幸嗣 【対面】 考古学と関連科学 A: 藤田尚 【対面】 複合文化論系演習(民族文化論): 寺崎秀一郎 【対面】	地理学特論 1: 久保純子 【対面】	考古学演習 1-1: 長崎潤一 【対面】 考古学研究指導 1-1 M: 長崎潤一 【対面】 考古学研究指導 7-1 D: 高橋龍三郎 【対面】 社会構築論系共通演習(フィールドワーク論): 田畑幸嗣/田中幸歩 【対面】	考古学演習 7(地域と時代の考古学): 高橋/長崎/寺崎/田畑/城倉/山崎 【対面】	考古学演習1(実習)C: 加藤一郎 【対面】
	秋	文学部 選択基礎演習11: 山崎世理愛 【対面】 考古学研究指導 1-2 M: 長崎潤一 【対面】 考古学研究指導 1-2 D: 長崎潤一 【対面】 社会構築論系演習(文化遺産論3): 寺崎秀一郎 【対面】	考古学演習(卒論): 山崎世理愛 【対面】 複合文化論系演習(物質文化論): 寺崎秀一郎 【対面】	地理学特論 1: 久保純子 【対面】	考古学演習 8(考古学発達史): 谷口康浩 【対面】 考古学演習 1-2: 長崎潤一 【対面】 考古学研究指導 7-2 D: 高橋龍三郎 【対面】	考古学演習 14(卒論演習): 高橋/長崎/寺崎/田畑/城倉/山崎 【対面】 環境と考古学: 馬場匡浩 【対面】	文化財行政学特論: 御堂島正 【対面】
12:20 3	春	考古学演習 1(実習)B: 長崎潤一/山崎世理愛 【対面】 考古学演習(卒論): 寺崎秀一郎 【対面】 コミュニティー創造ゼミ3(文化遺産論): 田畑幸嗣 【対面】	考古学演習 1(実習)A: 高橋龍三郎 【対面】 比較文化論 1: 小川英文 【オンライン】 人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) A: 寺崎秀一郎 【対面】 必修基礎演習16: 田畑幸嗣 【対面】 必修基礎演習15: 竹野内恵太 【対面】		考古学研究 10: 長崎潤一 【対面】	考古学演習(卒論): 城倉正祥 【対面】 必修基礎演習21: 竹野内恵太 【対面】	考古学と関連科学 B: 小林謙一/佐々木由香/穂泉岳二/早田勉 【対面】
	秋	考古学演習 3(実習)B: 長崎潤一 【対面】 考古学演習(卒論): 寺崎秀一郎 【対面】 コミュニティー創造ゼミ3(文化遺産論): 田畑幸嗣 【対面】	考古学演習 3(実習)A: 高橋龍三郎 【対面】 比較文化論 2: 小川英文 【オンライン】 人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) A: 寺崎秀一郎 【対面】 文化構想学部 選択基礎演習8: 竹野内恵太 【対面】 文化遺産と保全 1・2: 小岩正樹/田畑幸嗣/金柄鎮 【対面】			考古学演習(卒論): 城倉正祥 【対面】	文化財の保存と活用特論: 品川欣也/亀田直美/中門亮太/和田浩 【対面】
14:50 4	春	考古学演習2(実習)B: 長崎潤一/山崎世理愛 【対面】 考古学演習(卒論): 高橋龍三郎 【対面】 考古学演習(卒論): 田畑幸嗣 【対面】 考古学演習 2-1: 寺崎秀一郎 【対面】 考古学研究指導 2-1 M: 寺崎秀一郎 【対面】	考古学演習 2(実習)A: 高橋龍三郎 【対面】 考古学研究7: 田畑幸嗣 【対面】 考古学研究指導 5-1 M: 田畑幸嗣 【対面】 考古学演習 5-1: 田畑幸嗣 【対面】 人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) B: 寺崎秀一郎 【対面】		考古学演習(卒論): 長崎潤一 【対面】 考古学演習 7-1: 高橋龍三郎 【対面】 考古学研究指導 7-1 M: 高橋龍三郎 【対面】 古代美術の様式とイコノグラフィ: 竹野内恵太 【対面】 理論考古学: 佐藤宏之 【対面】	考古学研究指導 3-1 M: 城倉正祥 【対面】 考古学演習 3-1: 城倉正祥 【対面】	考古学概論: 山崎世理愛 【対面】 博物館実習H: 清喜裕二 【対面】
	秋	考古学演習 4(実習)B: 長崎潤一 【対面】 考古学演習(卒論): 高橋龍三郎 【対面】 考古学演習(卒論): 田畑幸嗣 【対面】 考古学演習 2-2: 寺崎秀一郎 【対面】 考古学研究指導 2-2 M: 寺崎秀一郎 【対面】	考古学演習 4(実習)A: 高橋龍三郎 【対面】 考古学研究8: 田畑幸嗣 【対面】 考古学研究指導 5-2 M: 田畑幸嗣 【対面】 考古学演習 5-2: 田畑幸嗣 【対面】 人間文化ゼミ(文化ツーリズム論) B: 寺崎秀一郎 【対面】		考古学演習(卒論): 長崎潤一 【対面】 考古学演習 7-2: 高橋龍三郎 【対面】 考古学研究指導 7-2 M: 高橋龍三郎 【対面】	考古学研究指導 3-2 M: 城倉正祥 【対面】 考古学演習 3-2: 城倉正祥 【対面】 文化観光と地域社会: 竹野内恵太 【対面】	考古学特殊演習: 竹野内恵太 【対面】 博物館実習H: 清喜裕二 【対面】
16:45 5	春	考古学研究指導 1-1 D: 長崎潤一 【対面】 考古学研究指導 2-1 D: 寺崎秀一郎 【対面】 考古学研究5: 山崎世理愛 【対面】 社会構築論系演習(文化遺産論1): 田畑幸嗣 【対面】	考古学研究 1: 寺崎秀一郎 【対面】		考古学演習 9(日本考古学): 高橋龍三郎 【対面】 死の人類学: 竹野内恵太 【対面】	考古学演習 12(東アジア考古学): 城倉正祥 【対面】	文化財の保存と活用: 忍澤成視 【対面】 博物館実習H: 清喜裕二 【対面】
	秋	考古学研究指導 2-2 D: 寺崎秀一郎 【対面】 考古学研究6: 山崎世理愛 【対面】	考古学研究 2: 寺崎秀一郎 【対面】			アジア考古学交流: 城倉正祥 【対面】	考古学特殊研究: 平原信崇 【対面】 博物館実習H: 清喜裕二 【対面】

●文 ●文構 ●文研 ●文・文構共通 ●その他

※「考古学研究 3 : 高橋龍三郎(春)」「考古学研究 4 : 高橋龍三郎(秋)」「考古学研究11 : 城倉正祥(春)」「都市景観の保存学: 田畑幸嗣(春)」「世界の考古学: 田畑幸嗣(春)」「現代社会と考古学: 長崎潤一(秋)」「日本考古学概説: 長崎潤一/城倉正祥/高橋龍三郎(春)」「比較文明論: 田畑幸嗣(秋)」「考古学方法論: 田畑幸嗣(秋)」「原始古代の社会と宗教(アジア): 田畑幸嗣/高橋龍三郎(秋)」はフルOD

※「考古学研究12 : 城倉正祥」は冬季集中

<参考資料>

## 考古学コース在籍者の出身大学について

### 2023 年度

修士課程入学者：3名

(内訳) 内部 (文学部考古学コース)：3名

博士後期課程入学者：1名

(内訳) 内部 (文学部考古学コース)：1名

### 2022 年度

修士課程入学者：5名

(内訳) 内部 (文学部考古学コース)：4名、駒澤大学1名

博士後期課程入学者：2名

(内訳) 内部 (文学部考古学コース)：1名、社会人：1名

### 2021 年度

修士課程入学者：3名

(内訳) 内部 (文学部考古学コース)：3名

博士後期課程入学者：1名

(内訳) 社会人：1名

### 2020 年度

修士課程入学者：7名

(内訳) 内部 (文学部考古学コース)：5名、駒澤大学：1名、学習院大学：1名

博士後期課程入学者：3名

(内訳) 内部 (文学研究科考古学コース)：2名、社会人：1名

### 2019 年度

修士課程入学者：4名

(内訳) 内部 (文学部考古学コース)：1名、文化構想学部：1名、教育学部：1名、京都大学：1名

博士後期課程入学者：3名

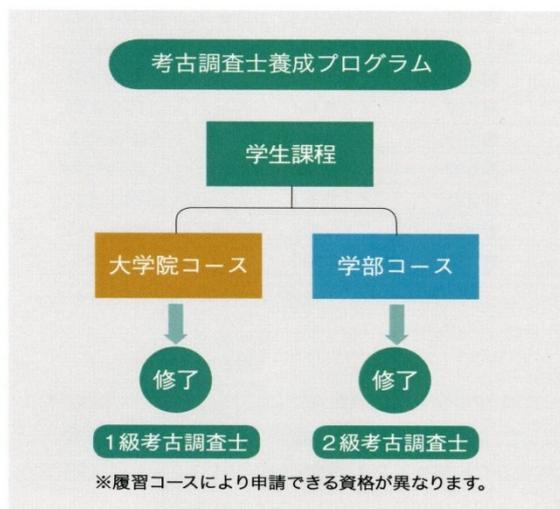
(内訳) 内部 (文学研究科考古学コース)：2名、留学生：1名

# 2023年度考古調査士養成プログラム

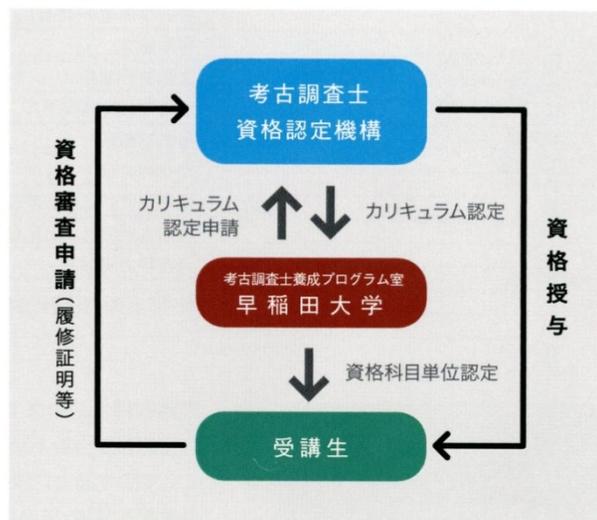
## 履修の手引き(学生課程)

### 履修コースと受講条件 (学生課程)

考古調査士養成プログラムでは、考古調査士資格の取得を目指すコース及び科目群を設置しています。



〈コース設計〉



〈資格授与のしくみ〉

#### 学生課程のコースと資格

学生課程には2級考古調査士資格に申請できる学部コースと、1級考古調査士資格に申請できる大学院コースの2コースが設置されています。

在学中に必要な資格科目を修得した場合、卒業前に資格申請をすることができます。また他学部生の聴講も可能です。

早稲田大学文学学術院考古調査士養成プログラムホームページ

<http://www.waseda.jp/prj-maibun/>

考古調査士資格認定機構ホームページ

<http://www.jabar.jp/>

## 学部コース

学部学生を対象としたコースで、2級考古調査士に対応します。

本コースでは必修科目の「文化財行政学」および「文化財の保存と活用」と、下記の指定科目を修得し、必要単位数を満たすことで資格申請ができます。

履修方法については学部コースの説明を十分確認した上で、所定の科目登録の手続きを行ってください。

### 考古学コースの学部生 考古学コース設置必修科目

文学部考古学コースに在籍する学生は、表1に掲げるコース設置の指定科目の中から合計10単位を満たすと、2級考古調査士に資格申請する要件を満たします。

「文化財行政学」および「文化財の保存と活用」を必修科目とします。

(表1)

科目名	科目群	単位数	学期	担当者
考古学演習1(実習)A, B	第4群	2	春学期	高橋 龍三郎、長崎 潤一 山崎 世理愛
考古学演習2(実習)A, B	第4群	2	春学期	高橋 龍三郎、長崎 潤一 山崎 世理愛
考古学演習3(実習)A, B	第4群	2	秋学期	高橋 龍三郎、長崎 潤一 山崎 世理愛
考古学演習4(実習)A, B	第4群	2	秋学期	高橋 龍三郎、長崎 潤一 山崎 世理愛
卒業論文 ★	第1~7群	2	通年	城倉 正祥、他
文化財行政学【必修】	第5群	2	春学期	御堂島 正
考古学と関連科学A	第6群	2	春学期	藤田 尚
考古学概論	第1群	2	春学期	山崎 世理愛
文化財の保存と活用【必修】	第5群	2	春学期	忍澤 成視
原始古代の社会と宗教(アジア)	第3群	2	秋学期	高橋 龍三郎、田畑 幸嗣
原始古代の社会と宗教(エジプト・マヤ)	第3群	2	春学期	寺崎 秀一郎、山崎 世理愛
考古学方法論	第2群	2	秋学期	田畑 幸嗣

※表中にある第○群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。

※2010年度~2022年度に修得した上記科目を資格申請に加えることが可能です。

※担当教員は変更の可能性があります。

★考古学に関する卒業論文は、テーマに応じて、第1科目群から第7科目群のいずれかに割り振り、単位を加算することができます。ただし2単位相当とします。

## 考古学コース以外の学部生 全学オープン科目

考古学コース**以外**の文学部生ならびに他学部生はこちらの科目を履修してください。

資格取得希望の文学部考古学コース以外の学部学生は、表2に掲げるオープン科目の指定科目を合計10単位修得することで、2級考古調査士の資格を申請する要件を満たします。

「文化財行政学」および「文化財の保存と活用」を必修科目とします。

(表2)

科目名	科目群	単位数	学期	担当者
文化財行政学【必修】	第5群	2	春学期	御堂島 正
考古学と関連科学A	第6群	2	春学期	藤田 尚
考古学概論	第1群	2	春学期	山崎 世理愛
文化財の保存と活用【必修】	第5群	2	春学期	忍澤 成視
原始古代の社会と宗教(アジア)	第3群	2	秋学期	高橋 龍三郎、田畑 幸嗣
原始古代の社会と宗教(エジプト・マヤ)	第3群	2	春学期	寺崎 秀一郎、山崎 世理愛
考古学方法論	第2群	2	秋学期	田畑 幸嗣

※表中にある第○群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。

※2010年度～2022年度に修得した上記科目を資格申請に加えることが可能です。

※担当教員は変更の可能性があります。

### <科目設置と履修に関する注意>

学生課程に設置する資格科目群は、科目の性質や内容によって、基本的に第1科目群から第7科目群までに含まれます。これらは、いずれも考古学に重要な専門知識と技術、埋蔵文化財に関する諸知識を網羅しています。したがって、履修者は、設置された科目群の中から幅広い範囲にわたって科目を履修することが望ましく、最低3科目群にわたって必要な単位を修得する必要があります。また、1科目群の中から申請できるのは、2科目、4単位以内とします。

## 大学院コース

### 考古学コースの博士後期課程・修士課程学生

本コースは2級考古調査士の資格を有すること（または2級考古調査士資格相当の単位を修得済み）を条件とします。大学院文学研究科考古学コースの博士後期課程および修士課程に在籍する学生は、大学院の考古学コースに設置する指定科目を履修し、必要単位（博士8単位、修士8単位）を満たすことにより、1級考古調査士資格に申請する条件を満たします。

必修科目として、「文化財行政学特論」、「文化財の保存と活用特論」、「考古学特殊研究」（修士課程必修）、「考古学特殊演習」（博士後期課程必修）、「考古学専門実習」を指定します。

（表4）

科目名	科目群	単位数	学期	担当者
1. 文化財行政学特論【必修】	第5群	2	秋学期	御堂島 正
2. 文化財の保存と活用特論【必修】	第5群	2	秋学期	品川 欣也、亀田 直美、 和田 浩、中門 亮太
3. 考古学特殊研究【修士課程必修】	第3群	2	秋学期	平原 信崇
4. 考古学特殊演習【博士後期課程必修】	第3群	2	秋学期	竹野内 恵太
5. 考古学専門実習【必修】	第4群	2	通年	高橋 龍三郎

※「3. 考古学特殊研究」は修士課程、「4. 考古学特殊演習」は博士後期課程に設置した科目ですので、履修年次にご注意ください。

※1. 2. 3. 5は修士課程の、また1. 2. 4. 5は博士後期課程の必修科目です。

※2009～2022年度に修得した上記5科目を資格申請に加えることが可能です。

※表中にある第○群の表記は、「カリキュラムと資格科目の要件」で規定した科目群の番号を示します。

### 他コースの修士課程学生

2級考古調査士の資格を有する（または2級考古調査士資格相当の単位を修得済みの）考古学コース以外の文学研究科修士課程に在籍する学生は、表4の指定科目8単位に加えて、大学院考古学コースに設置された研究科目（考古学研究1～12）のうちから2科目4単位以上を履修し、合計12単位以上を修得することにより、1級考古調査士資格に申請する要件を満たします。

必修科目として、「文化財行政学特論」、「文化財の保存と活用特論」、「考古学特殊研究」、「考古学専門実習」を指定します。なお、博士後期課程に在籍する学生は対象外となります。